

# 事業者向け 児童発達支援事業自己評価表

令和3年度 社会福祉法人むそう ほわわ品川

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切である。新型コロナウイルスの拡大により、室内では利用者ごとに1.5mは離れるようにスペースを取っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	国基準を満たした上で、保育士や児童指導員、ヘルパーを加配で配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	活動訓練室はバリアフリーになっている。建物のエレベーターが狭いことが利用者アンケートから上がっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	職員会議とケアカンファレンスを実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	利用者評価を実施して、ご意見をいただいている。いただいたご意見を改善でききるよう努める。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	利用者評価と事業所自己評価は法人のホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	権利擁護・虐待防止研修、感染対策研修（ほわわでの感染対策や手袋やエプロンの着脱について）、カンファレンスを実施した。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	契約前にアセスメントのための面談を実施している。その面談を踏まえて、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントシート、フェイスシート、身体図、24時間シート、週刊スケジュール表を用いて、身体のことやご自宅での生活について聞き取りをしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	年間の計画から、利用者さんごとの活動を決めている。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	季節感を感じる活動や買い物や電車に乗る経験など、利用者様ごとの年齢や発達年齢、目標に合わせてプログラムを立てている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	年齢、発達年齢、身体の状況によって個別活動と集団活動を設定している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	日々はコーディネート表で担当や役割分担を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	連絡帳に記録している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	利用日には連絡帳に時間軸と文章での記録を取っている。連絡帳の記録は保管して、振り返りができるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回、モニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参加したいと思っているが、新型コロナウイルス影響でサービス担当者会議がない・・・
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	主治医から看護指示書をいただいている。介護職員等が喀痰吸引の3号研修をする場合も、指示書をいただいている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	

関係機関や保護者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	保護者を通して、児童発達支援センターで取り組んでいることや活動内容を教えていただいている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	直接保育園や幼稚園の子どもと関わる機会は持っていない。しかし、日々の活動の中で公園に行った場合は、遊びに来ている地域のお子さんの遊んでいる様子を見たり聞いたりできるようにしている。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	品川区の医療的ケア児等支援関係機関連絡会の委員になっている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々は連絡帳や行き帰りの引き継ぎで保護者と情報共有をしている。気軽にやりとりできるツールとしてLINEWORKSを導入している。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者同士が交流する機会を必要と思っているが、新型コロナウイルスの拡大で回数が少ない。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時には、重要事項説明書、個別支援計画をもとに説明をしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	年に2回は面談の時間を設けている。それ以外でも利用者様やご家族の状況に応じて、面談の時間を設けている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	例年ほクリスマス会を実施しておりましたが、昨年度は新型コロナウイルスの拡大により実施できませんでした。今年度感染対策をしながらクリスマス会を開催して、保護者の皆様が交流する機会となった。新型コロナウイルスの拡大で思うように開催できないが、保護者やきょうだいも参加できるイベントを今後も開催したい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	重要事項説明書に事業所内と行政の苦情相談について記載しており、契約時にご説明をしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に1回ぼわぼわという会報を発行し、日々の活動の様子をお伝えしたり、看護師より時期によって流行する感染症についてコラムを掲載している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	利用契約時に、個人情報の同意書をいただいている。写真や動画などの使用についても、会報・ホームページ等の項目ごとに許可・不許可を確認している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて行っている。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	新型コロナウイルスの拡大できていないが、町内会に加入している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアルは利用者ごとに作成し保護者と確認している。感染症対応マニュアルは新たに新型コロナウイルスに対応するものを作成して、周知した。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	地震、火災を想定して避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	権利擁護・虐待防止研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	身体拘束がある場合には、個別支援経過に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーのあるお子さんは保護者から連絡をいただいた後、共有の医ケア表とコーディネート表に記載し間違いがないようにしている。主治医からは看護指示書に対応を記載していただくようにしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書を作成し、回覧して再発防止に努めている。報告書は保管して、振り返りができるようにしている。